

第6回 (令和7年10月) プログラミング技能検定試験 4級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

セットの選択に応じて金額を表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
秋のおすすめ料理
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.jpg にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
炊き込みご飯セットにする場合はチェック
 - (4) 【フォーム】のブロックセット（チェックボックス・ボタン）を挿入しなさい。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。

<作成ページ例>

3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

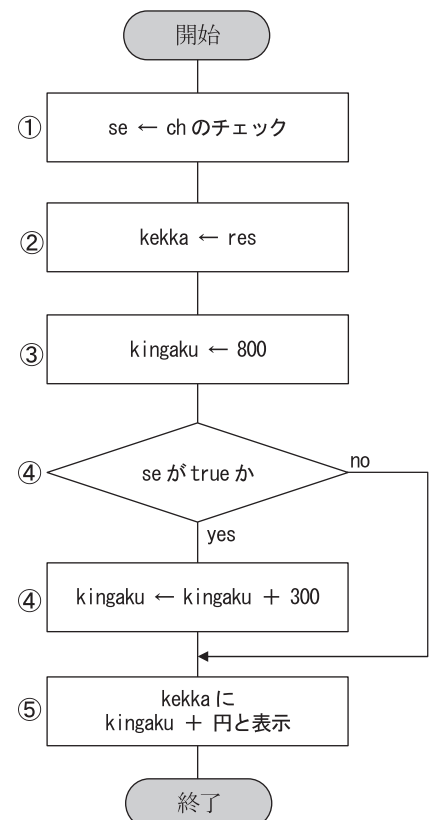
- ・フォームのボタンが押されたら判定結果を表示する。
- ・料理代金は800円、炊き込みご飯セットの料金は300円とする。
- ・フォームのチェックボックス (ch) にチェックが入っているかどうかを判定し、入っていれば炊き込みご飯セットの料金を足す。
- ・表示先は2-(5)の位置とする。

- (1) 【スクリプト・関数】ブロックを挿入しなさい。
- (2) 【部品】内のブロックをすべて用いて、(1)の<function>ブロックの中に下記処理手順どおりに組み立てなさい。

■処理手順

- ① フォームのチェックボックス (ch) のチェック状況を取得し、セット料金「se」に設定する。
- ② 結果の文字を表示させる場所 (res) の情報を取得し、「kekka」に設定する。
- ③ 金額「kingaku」は800と設定する。
- ④ もし「se」がtrueだった場合、「kingaku」に300を足して「kingaku」に入れる。
- ⑤ 「kekka」の場所に金額「kingaku」+「円」と表示する。

<フローチャート>



第6回 (令和7年10月) プログラミング技能検定試験 3級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

1日あたりの会員登録者数を決め(入力)、それが5万人に達するには何日かかるかを求めて表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

会員数5万人に達するには何日かかる？
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.png にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

1日あたりの登録者数を入力
 - (4) 【フォーム】のブロックセット(数値入力欄・ボタン)を挿入しなさい。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。

<作成ページ例>

会員数5万人に達するには何日かかる？

1日あたりの登録者数を入力

5000 計算

10日かかります

3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

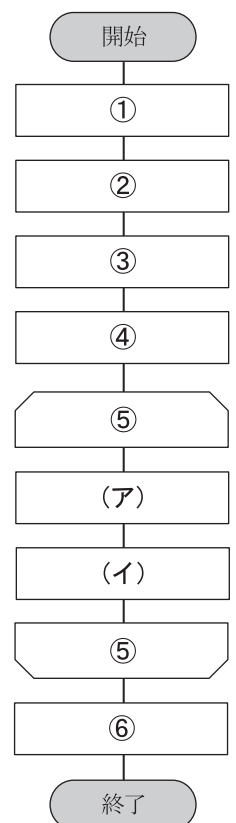
- ・50000 を超えるまで指定された値(フォームの数値入力欄(in)に入力された値)の加算を繰り返し、その回数をカウントする。
- ・フォームのボタンが押されたら結果を表示する。表示先は2-(5)の位置とする。
- ・入力値は1以上の正の整数を想定。

- (1) 【スクリプト・関数】ブロックを挿入しなさい。
- (2) 【部品】内のブロックをすべて用いて、(1)の<function>ブロックの中に下記処理手順どおりに組み立てなさい。下線部分の比較演算子は処理手順通りに設定すること。

■処理手順

- ① 変数 atai を宣言し、id (in) の値を数値に変換し代入
- ② 変数 kekka を宣言し、id (res) の場所を取得し代入
- ③ 変数 nissuu を宣言し、0 を代入
- ④ 変数 kaiin を宣言し、0 を代入
- ⑤ kaiin が 50000 未満の間、下記の処理を繰り返す
 - (ア) kaiin に atai を加算し代入
 - (イ) nissuu に 1 を加算し代入
- ⑥ kekka の場所にある HTML に以下の変数・文字列を結合して代入
nissuu + 「日かかります」

<フローチャート>



第6回 (令和7年10月) プログラミング技能検定試験 2級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

日本文化体験会の参加人数から合計金額を算出し、金額に応じて割引をした結果を表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
日本文化体験会の参加人数を入力してください
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.png にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
合計金額に応じて割引があります
 - (4) 【フォーム】から<form>ブロックを選択・挿入し、その中に下記のブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - ① 【表示文字】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
弓道体験 5000 円
 - ② 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id 名は bow。
 - ③ 【改行】ブロックを挿入しなさい。
 - ④ 【表示文字】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
茶道体験 3000 円
 - ⑤ 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id 名は tea。
 - ⑥ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。value は合計、onclick は関数名 sh。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

- ・フォームの数値入力欄の値に体験料金を乗算し、合計金額を求める。
弓道体験料金：5000 円 茶道体験料金：3000 円
- ・合計金額を条件によって判定し、下記割引額を求め、合計金額から減算し「合計：〇円」と表示する。
合計金額 18000 円以上：割引額 2250 円 合計金額 12000 円～17999 円：割引額 1200 円
合計金額 8000 円～11999 円：割引額 600 円
- ・入力値は正の整数のみを想定。
- ・フォームのボタンが押されたら結果を表示する。表示先は2-(5)の位置とする。

<作成ページ例>

初期ページ

日本文化体験会の参加人数を入力してください

秋の
日本文化体験会

茶道

合計金額に応じて割引があります

弓道体験5000円

茶道体験3000円 合計

結果表示例

合計金額に応じて割引があります

弓道体験5000円 1

茶道体験3000円 1 合計

合計：7400円

合計金額に応じて割引があります

弓道体験5000円 3

茶道体験3000円 1 合計

合計：15750円

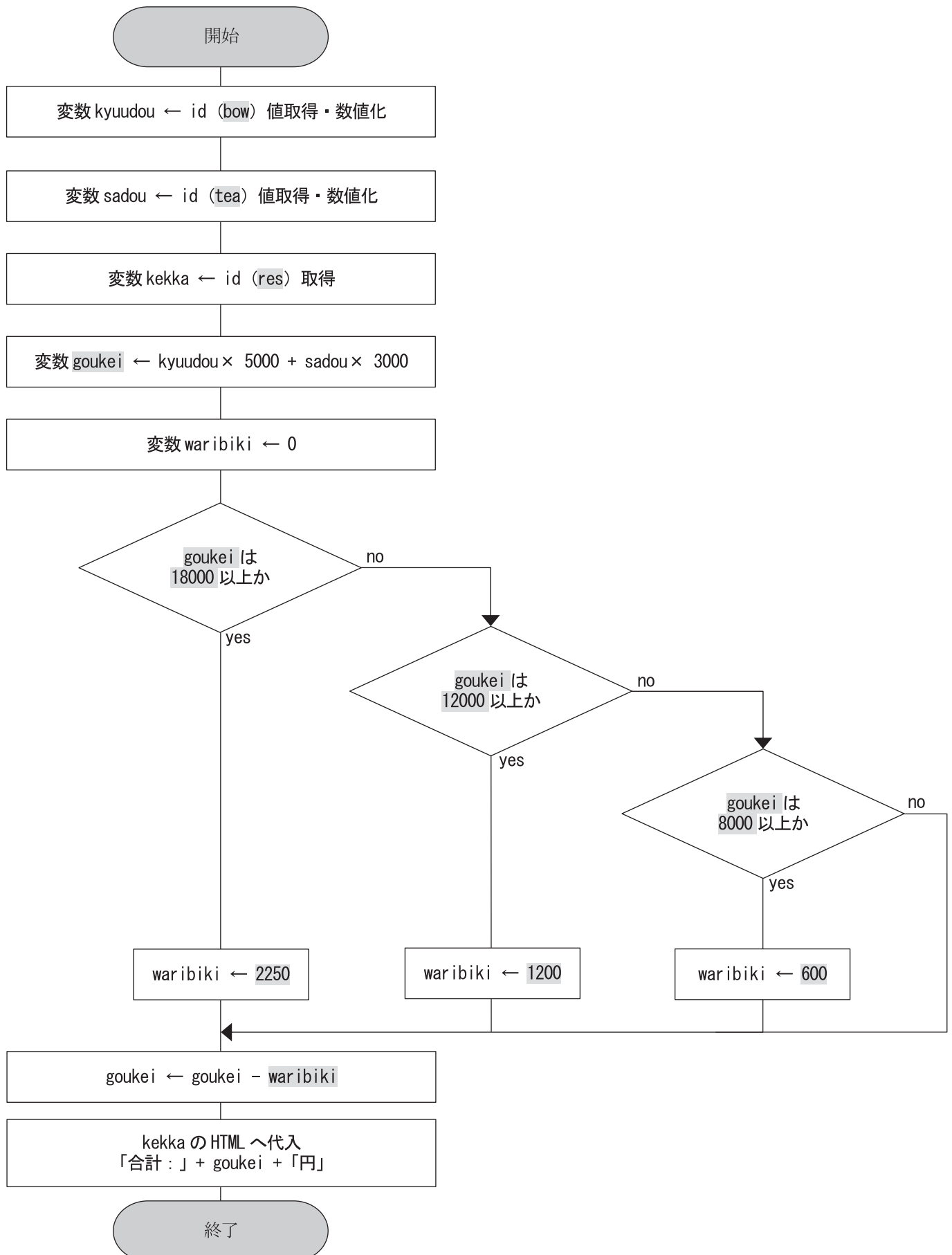
合計金額に応じて割引があります

弓道体験5000円 1

茶道体験3000円 3 合計

合計：12800円

- (1) 【スクリプト】・【関数】ブロックを挿入し、2ー(4)ー⑥で指定した関数名を入力しなさい。
- (2) 【部品】内から正しいブロックを選択し、(1)の関数ブロックの中に下記フローチャートどおりに組み立てなさい。条件式内の比較演算子は正しく動くように設定すること。



第6回 (令和7年10月) プログラミング技能検定試験 1級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

入館料判定ページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
入館料のご案内
 - (2) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
会員種別を選択し年齢を入力してください
 - (3) 【フォーム】から<form>ブロックを選択・挿入し、その中に下記のブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - ① 【フォーム】からセレクトのブロックセットを選択・挿入しなさい。id 名は sta。オプション内の設定は下記のとおりとする。
一つ目のオプション：value は com、表示文字は一般。
二つ目のオプション：value は mem、表示文字は会員。
 - ② 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id 名は age。
 - ③ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。value は判定、onclick は関数名 sh。
 - (4) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。
 - (5) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.png にしなさい。id 名は tic。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[アプリ仕様書]

● 概要

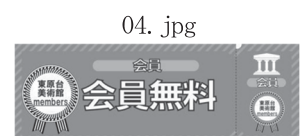
Web ページに入館料判定機能を実装する。画面の選択ボックスで選択された設問の答え（会員）と数値入力欄の値（年齢）の組み合わせをもとに、入館料を判定し、文字と画像で結果表示する。

● 条件

- ・ 数値入力欄の値は、数値変換を行って処理。
- ・ 「一般か会員か」、「年齢は何歳か」という二つの設問のそれぞれの結果を基に、条件によって4パターンの入館料を表示。
- ・ 一般かつ19歳以上の場合、「入館料は1000円」・画像01.jpgを表示。
- ・ 一般かつ6～18歳の場合、「入館料は800円」・画像02.jpgを表示。
- ・ 一般かつ年齢が上記の条件でない場合、「入館料は0円」・画像03.jpgを表示。
- ・ 会員の場合、「入館料は会員無料」・画像04.jpgを表示。
- ・ 結果の文字は段落（res）に、画像は画像（tic）に表示。

● 検証値

選択(sta)	入力(age)	段落表示文字	画像表示
一般	19	入館料は1000円	01.jpg
一般	6	入館料は800円	02.jpg
一般	1	入館料は0円	03.jpg
会員	-	入館料は会員無料	04.jpg



<作成ページ例>

初期ページ

入館料のご案内

会員種別を選択し年齢を入力してください

東原台美術館

Higasiharadai art museum



開館時間：9時～17時
 休館日：月曜日（祝日除く）

結果表示例

入館料のご案内

会員種別を選択し年齢を入力してください

入館料は1000円

東原台美術館

非会員（大人）

¥1,000

東原台美術館

- 【スクリプト】・【関数】ブロックを挿入し、2－(3)－③で指定した関数名を入力しなさい。
- 下記変数定義・論理部フローチャートを基にブロックを組み立てなさい。【部品】内から正しいブロックを選択し、組み立て、条件式内の比較演算子は正しく動くように設定すること。

<変数定義>

kai：セレクトのオプション（sta）の値を格納

nenrei：数値入力欄（age）に入力された値を格納

kekka：結果（文字）を表示するための場所（res）を取得

gazou：結果（画像）を表示するための場所（tic）を取得

ryoukin：宣言のみ・代入値なし（結果（文字）の内容の一部を格納することを想定）

<論理部フローチャート>

